

県立武道館施設整備事業について

■ 事業概要

○事業の目的

長野県における武道の取り巻く現状は、平成24年度に中学校において武道の必修化が完全実施されたことに伴い、武道に触れる機会が格段に増えている一方、武道団体においては大会の開催に当たり会場確保が難しく、新たな大会の誘致が困難な状況にある。

そのような状況のなか、本県の地理的特性など強みを生かし、武道に適した施設とすることを基本にしつつ、武道以外の活動やイベント等にも利用できるような利便性の高い施設とし、本県における武道振興の中核的拠点として武道館を建設する。



○施設整備方針

- (1) 本県の武道振興の中核的拠点となる施設
- (2) 多目的に利用できる「選ばれる」施設
- (3) 県民に愛され永く使われる施設
- (4) 環境・景観に配慮した施設

■ 施設概要

○施設の規模等

建設地：佐久市猿久保字野間窪
(佐久市駒場公園の一部)
敷地面積：22,323 m²
(一部佐久市管理面積含む)
建築面積：10,720 m²
延べ面積：12,382 m²
構造・規模：RC造+S造+W造
地上2階建て
建設費：57億円程度

整備諸室	主道場	競技面積 2,348m ² (柔・剣道場6面可能) 観客席 1,512席 (車椅子・同伴者用12含む) ※武道用(H0.7m)及びイベント用(H1.5m)ステージを設置
	道場1 (畳敷き)	競技面積 763m ² (柔道場3面可能：336畳敷き) 観客席 202席 (可動66、車椅子・同伴者用4含む)
	道場2 (板敷き)	競技面積 763m ² (剣道場3面可能) 観客席 202席 (車椅子・同伴者用4含む)
	その他	会議室、師範室、器具庫、シャワー室 等
熱源方式		地中熱HP+冷温水発生装置混合方式

○案内図



■ 配置計画等

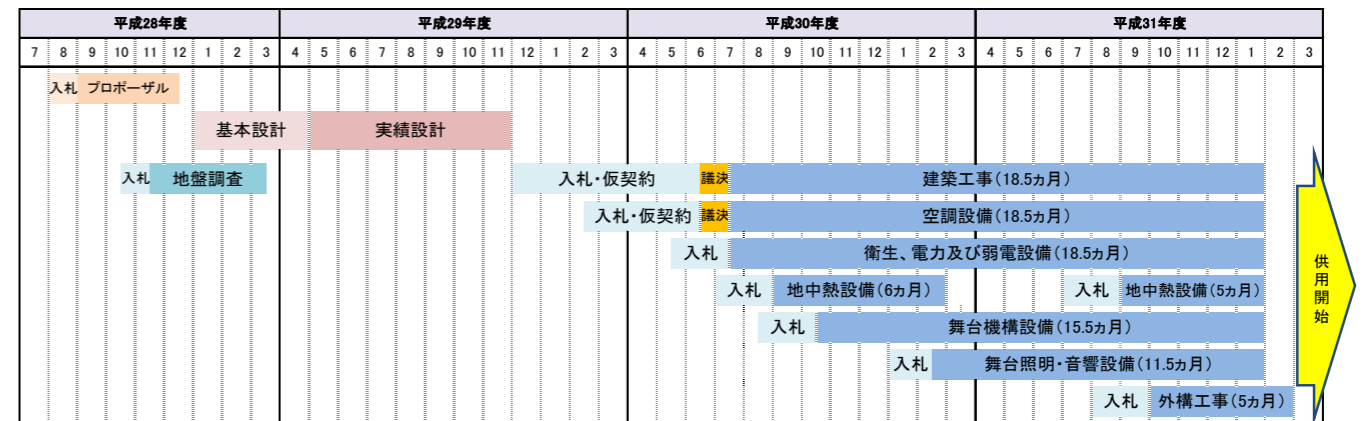


○主な特色

- (1) S造とW造のハイブリット屋根架構
- (2) 武道に適した床材の選定
主道場：アカマツ 道場2：杉
- (3) 高断熱仕様としエネルギー消費抑制 ZEB-Readyの実現
- (4) 自然エネルギーの活用
地中熱利用、太陽光発電、雨水利用
- (5) コンサート等が開催できる舞台設備を設置
- (6) 災害時に物資拠点及び避難所として利用可



■ 事業スケジュール



■ 内観パース/工事進

